

令和8年度 特別支援学校作業製品ブランド化に係る 「ぐんぐんハート27」付与製品



ドライハーブ&スパイス
県立高崎高等特別支援学校

統一ロゴマーク
ぐんぐんハート27



Gunma[®]
special needs school work products



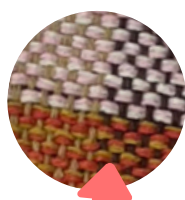
このマークは群馬県の特別支援学校27校の生徒が作ったハートマークを集めて群馬県の形にデザインしたものです。

統一ロゴマークを付与することで、特別支援学校の作業学習で製作された質の高い作業製品のブランド化を図ります。

愛称（ぐんぐんハート27）は、特別支援学校の児童生徒から候補を募集して、投票により決めました。



入れ子式リバーシブル
小物入れ
県立富岡特別支援学校



絹織物のななめ掛け
ショルダー
県立富岡特別支援学校



絹組紐のペットボトル
ホルダー
県立富岡特別支援学校



はぎれトートバッグ
県立高崎高等特別支援学校



レモン皿
県立前橋高等特別支援学校



マット
高崎市立高崎特別支援学校

<お問合せ先>

群馬県教育委員会 特別支援教育課
☎027-226-4656

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



令和 8 年度特別支援学校作業製品のブランド化に係る 「ぐんぐんハート27」付与製品 選考・選定の流れ

1 選考委員会（第 1 次審査）

- (1) 日時 令和 8 年 8 月 6 日（木）午前
- (2) 委員 県内特別支援学校 27 校の生徒と教員計 76 名
- (3) 内容
 - ① 50 点の作業製品から選考基準をもとに台紙にシールを貼る方法で選考した。
 - ② 集計している時間を活用し、生徒が自校の作業製品の良いところや他校の作業製品を見てよいと思ったところを意見交換した。
 - ③ 20 点の作業製品が二次審査の選定委員会に送られることが決まった。生徒が投票した数が多かった上位 3 点は、「生徒に人気だったで賞」として、3 校に賞状を贈呈した。



2 選定委員会（第 2 次審査）

- (1) 日時 8 月 6 日（木）午後
- (2) 委員 専門家（大学教授、ぐんま伝統工芸士会会長）文化連盟会長、作業学習担当校長、弁理士、大学生（美術科専攻）
- (3) 内容
 - ① 選考委員会で選考された製品（20 点）を選定委員が選定基準をもとに審査した。
 - ② 協議をし、7 点の作業製品が選ばれた。

